

お子様の英語学習にご関心をお持ちの保護者様へ

小学校・中学校 新しい学習指導要領[英語]

これまでよりも友達同士の英会話や一人ひとりの発表 (スピーチ) が評価されます！

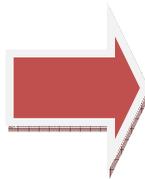
新しい学習指導要領改訂案「英語」では、これまで英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)のうち、「話すこと」を『やりとり』と『発表』に分け、5つの領域として位置付けています。

これは「話すこと」の指導のウエートが置かれるということで、授業では、友達同士や先生との「コミュニケーション活動」や一人ひとりの英語での発表(スピーチ)が評価されるということを意味しています。

<現行学習指導要領>

4領域の目標設定

- ・聞くこと
- ・話すこと
- ・読むこと
- ・書くこと



<新しい学習指導要領改訂案>

★5領域の目標設定

- ・聞くこと
- ・話すこと[やりとり]
- ・話すこと[発表]
- ・読むこと
- ・書くこと

小3・4生は「外国語活動(英語)」の時間が週1コマ、小5・6生は教科書を使って週2コマの時間分を学習します。小学校で600語～700語、中学校では1600語～1800語(現行は中学校で1200語ですから2倍になります)を学習し、コミュニケーションや発表できる力(発信力)を高めていくことになります。

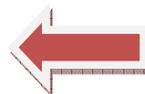
ステップワールドでは、発信力を育成していくために『全国ジュニア英語スピーチコンテスト』を開催、来年は40回目を迎えます。

「話すこと」は、個別指導の英語塾では十分な指導まで行き届かないのでは？
グループ指導クラスだからこそできる「コミュニケーション指導」と「スピーチ指導」
その成果を下記のページでお聞きください！

第39回決勝大会に出場した小学生、中学生の発表です。

<http://www.llcenter.or.jp/box/contest/2016/16media.html>

全国ジュニア英語スピーチコンテスト Recordings



検索
キーワード